

野田ロータリークラブ週報

第2944回例会 (5月20日)

第2937号 2019.5.27 発行

■創 立:昭和31年5月

■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30



会 長:茂 木 佐平治

会長工外:富 山 好 夫

副 会 長:栗 林 徹

幹 事:細 谷 智 之

副 幹 事:宇 山 嘉 一

■発行責任者:小 出 賀 子

2018-2019年度 ロータリーのテーマ

R I : BE THE INSPIRATION 「インスピレーションになろう」

地区:「伝統と未来」 ~誇りと連帯感~

野田:「楽しくてこそ、ロータリー」

■ 例会場 事務局 ■

野田商工会館内5F(樺のホール) 〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL04 (7125) 0061 FAX04 (7125) 0055

会長挨拶



茂 木 佐平治 会長

先々週、京都に行ってきました。まさに、新緑の京都です!私は、春の桜の季節も、秋の紅葉の季節も、なるべく京都に行くのを避けています。この時期は、桜や紅葉よりも、人の頭の数の方が多いのです。そこで私は、新緑の青もみじを求めて京都に行きます。

もみじの名所は、新緑の名所でもあります。紅葉のもみじは見事ですが、新緑の青もみじも実に素晴らしいものです。洛北の瑠璃光院。このお寺の磨きこんだ黒い机に映り込んだ、青もみじ。まさにインスタ映えしま

す。同じ洛北の源光庵。お馴染みの、四角い「迷いの窓」と、丸い「悟りの窓」を通して観る、青もみじ。ほかの季節では味わえない感動があります。有名な大原の三千院。苔と青もみじが陽の光に輝いて、まぶしいくらいの新緑。しばし時間を忘れてしまう美しさです。どれもこれも、本当に初夏のすがすがしさを満喫できます。

新緑を観ながら深呼吸すると、爽やかな空気が肺にいっぱい入ってきて、本当に幸せになります。そうすると、おなかも空いてきますね。この季節、稚鮎です。

稚鮎は大人になる前の小さな鮎。うろこがつく前をシラスアユとか、琵琶湖ではヒウオとか呼ばれます。体全体がうろこで覆われてから、稚鮎といえます。一般的に市場に出回るのは、4~8センチくらいに成長してから。春にこのくらいまで成長して、川を遡上し始めます。鮎の解禁は、京都の川では6月に入ってからですが、稚鮎は、川を遡上する前の河口で獲ったりします。もちろん琵琶湖でも取れます。琵琶湖の鮎は有名ですね。

余談になりますが、琵琶湖の鮎は、普通の鮎と異なるのだそうです。鮎は普通、生涯の三分の一を海で過ごしますが、琵琶湖の稚魚は海には下らず、琵琶湖を海の代わりとして利用します。そして、琵琶湖に流れ込んでいる河川へ遡上して、大きく成長するものを「オオアユ」といい、琵琶湖内にとどまって大きく成長しない「コアユ」も存在するのだそうです。



いずれにしても、この小さな稚鮎は、頭から食べられます。まだ苦みはなくて、ほろっとした優しい味わいです。もちろん、塩焼きや天ぷらにしても美味しいですが、実は、稚鮎のフライが、格別です。フライにして、軽く塩をして、お好みでレモンを少々。是非、お試しください。

青もみじの季節に、大きく深呼吸をして、爽やかな空気をいっぱい吸い込んで、美味しい稚鮎に、冷えた白ワイン。日本人に生まれて良かったなど、実感します。

出席 今回分(5月20日分)
会員54名中43名出席 (79.63%)

第2944回例会

点 鐘 茂木佐平治 会長
司 会 待山 弘 会員
ソ ン グ 我らの生業

(4月22日分)
前々回訂正 (81.48%)
(前々回欠席14名中メーカーキャップ4名)
高梨昇一郎 会員 5/17 野田東RC
中野祐三郎 会員 4/20 地区研修協議会
茂木七郎治 会員 4/12 野田東RC
三野輪芳幸 会員 4/25 ゴルフ同好会

御誕生祝い



中村 政道 会員(5月22日)

ニコニコボックス

染谷 康雄 会員
運よく優勝する事ができました。次回も参加します。
ありがとうございます。

三野輪芳幸 会員
ゴルフ同好会で、準優勝とバスグロを頂きました。お世話になりました。

白島 智子 会員
ひまわり会ゴルフコンペで優勝させていただきました。仲長さん、染谷(栄)さん、伊藤さん、田中(鐘)さんに祝賀会をしていただきました。ありがとうございます。

永田 和子 会員
商工会議所女性会県連総会に県内各会議所から女性会員216名が来て下さり、盛大に総会が終わりました。市内の産業と文化(キッコーマンと高梨邸)を観て頂き喜んでいただきました。

中村 政道 会員
誕生祝いありがとうございます。

柴田 実 会員
結婚祝いありがとうございます。

早退3名

御結婚祝い



柴田 実 会員(5月8日)

幹事報告

細谷 智之 幹事



1. クラブ協議会について
6月10日(月)、17日(月)
2. 特別会計への積立の件

委員会報告

SAA 白島 智子 委員長



6/3 100%例会を実施します。
現在、99%程度出席の確認済みです。
ご協力をありがとうございます。

ゴルフ同好会 田中 鐘一 幹事



4月25日(木)千葉カントリークラブ川間コースにて、14名の参加を頂き、ゴルフ同好会を開催しました。優勝は染谷康雄会員、2位は三野輪芳幸会員、3位は私、田中でした。バスマグロは三野輪会員の「75」でし

た。次回は、10月中旬に予定しております。染谷栄会員と「初茸」をとり、初茸パーティーも開催されますので、ふるってご参加をお願い致します。

卓話



森下 芳夫 会員

「会計用語」の起源について

1. 「株式会社」のはじまり

① 個人事業がトクか、それとも会社がトクか。
起業する人から、必ず聞かれる質問があります。「個人事業で始めるのがいいのか、それとも株式会社を設立した方がいいのか。」有利・不利は仕事の内容と稼ぐ金額によるので、一概にはいえません。ここではそもそもの違いについてお話したいと思います。

② パンを分かち合うコンパーニア

商売は「個人で行う」のが原型です。個人事業では儲けも損もすべて一人でおぼるものです。でも、一人では無理な時、「数人で一緒にやる」というパターンがあります。中世イタリアのフィレンツェに「コンパーニア」という組織がありました。「com=一緒に、pan=パンを食べる」人達という意味です。これが転じて、「カン・パニー=company」つまり、カンパニー=会社はもともと「一緒にパンを食べる仲間」という意味なのです。そして、出資者は全員「無限責任」を背負うことになります。パンもムチも分かち合うのです。

③ 株式会社のルーツは東インド会社

コンパーニアが「株式会社」発展するのは、オランダの東インド会社からです。イタリアは16世紀に入って、人口増加により、食糧の自給ができなくなり、それを輸入に頼るようになります。そこでオランダ商人が活躍をみせます。オランダは食糧交易と海運の利権で急速に繁栄し、ついに、1602年に東インド会社が設立されました。持主の出資について「有限責任」として出資者が殺到、証券取引所がアムステルダムにでき大人気になりました。しかし、オランダの栄光は長くは続きませんでした。「当たれば大きい」反面、「海に沈むとすべておしまい」という東方貿易のリスクもさることながら、東インド会社ではずいぶん「ずさんな経理」が行われていたようです。今風にいえばガバナンスの欠如というやつです。チェック機能などに等しく、これがきちんとするのは、まだ先の話でした。

2. 「マーケティング」のはじまり

① マーケティングを得意とするヨーロッパ



一昔前、日本の外資系企業に赴任してくる欧米人は、こと「マーケティング」に関してだけは、日本企業にまかせたくなかったという話があります。日本企業の多くは、売れるか売れないか客任せ、売れなくなったなら新製品を考えるという態度でした。一方欧米諸国は「自らの商品やサービスのブランドを育てる」ことが得意で、特にヨーロッパの歴史の長い国々は息の長い商売を展開するのが得意でした。こうしたいわゆる、マーケティングらしき手法は「東インド会社」あたりから始まっています。

- ② 17世紀まで紅茶を飲んでいなかったイギリス人
紅茶を飲んでいるイギリス人のイメージは強いものがあります。しかし、彼らが好んでお茶を飲むようになったのは、18世紀になってからで、そのきっかけはイギリス設立の東インド会社です。
- ③ イギリスに紅茶を広めたマーケティング
イギリスはオランダと激しく競争していたので、「マーケティング」について考えるようになりました。同じものをライバルより高く、長く買ってもらうためには工夫が必要です。ここでイギリス商人が考えたのは、「お茶に砂糖とミルクを入れて飲む」という提案でした。中国人が驚くような飲み方が当時のイギリスで大流行しました。まさにマーケティングの基本といえます。マーケティングとは物やサービスを売り込むのではなく、「生活を変える新たな提案をすること」です。売り込みをしてはいけません。

3.「利益」のはじまり

- ① 黒字倒産が起こってしまう「利益」の謎
「利益」が出れば黒字、出ないと赤字。赤字が続くと会社は潰れます。会計の用語で最もなじみのある言葉です。

「利益があるのにお金がない理由」、「勘定あって銭足らず」とは何か、「黒字倒産」とは何か、わからないことがいくつもあります。その不思議な「利益」について考えてみます。

- ② 産業革命に登場した蒸気機関車
19世紀のはじめ、すでに蒸気機関は工場の動力として一般的になりました。この蒸気機関を車輪の上に載せれば、「自走式」の鉄道ができるのではないかと考えた人達がありました。1830年にジョージ・スチーブンソンが自走式の蒸気機関車を完成させ、リバプール・マンチェスター間を結ぶ「世界初の鉄道会社」を開通させることになりました。この産業革命の到達点が会計の歴史の「新たな始まり」になりました。
- ③ 鉄道会社から始まった減価償却
鉄道会社は、蒸気機関車を走らせるために、巨額の投資が必要になります。土地の購入、レールの敷設、駅舎や蒸気機関車、これらを完成させなければ、機関車は走れません。ここで、「収入・支出ベース」で儲けを計算すると「投資した期=赤字、投資のない期=黒字」となっています。これではまともに業績を反映させた儲けの計算ができません。そこで、鉄道会社の経営者たちは、新たな会計処理を考えました。それが「減価償却」です。この減価償却の登場から「収入-支出」の儲け計算が、そこから離れて「収益-費用」という形で計算されるようになります。この「収益-費用」の結果が「利益」です。
つまり、歴史の上で、利益は収支からわざわざ離れるように作られたわけです。なぜ「利益があるのに金がない」状況になるかといえば、わざわざそうやって「利益」をつくってきたからに他ならないのです。 以上

今週のトピックス

- 兼題 新緑・母の日
5月20日
俳句同好会句会(第66回)
- 新緑や開け放たれし蔵の窓 (佐野)
- 風光る髪なびかせてハイヒール (佐野)
- 艶やかや今朝咲き初めし花菖蒲 (高梨)
- 生命の神秘思ひぬ母の日に (高梨)
- 母の日や遠くなり行く年回忌 (茂木七)
- 新緑に広がる声とベビーカー (茂木七)
- 新緑のこもれ日の中バス走る (山下)
- なつかしき母の思い出母の日に (山下)
- 次回6月10日
兼題 天道虫・黒南風

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

月 日	卓 話 ・ 行 事	月 日	卓 話 ・ 行 事
5月27日(月)	会員卓話 村上 奈美 会員	6月17日(月)	クラブ協議会(委員会ごとに着席)
6月 2日(日)	ゴミゼロ運動 野田橋下手 8:30集合	6月24日(月)	夜間例会 幸楽 18時点鐘
6月 3日(月)	会員卓話 待山 弘 会員	6月30日(日)	ダメ、ゼッタイ イオンノア店 13:30集合
6月10日(月)	クラブ協議会(委員会ごとに着席)	7月 1日(月)	年度初例会